

OU STYLE

大阪大学と卒業生をつなぐ情報誌



旧制浪速高等学校の窓を模したステンドグラス
旧制浪速高等学校は1873年に創立された。旧制浪速
高等学校は大阪府立浪速高等学校として1948年に
創設された。この窓は、旧制浪速高等学校の
窓を模して制作された。旧制浪速高等学校
の窓は、大阪府立浪速高等学校の窓を模して制作
された。

2019
March
VOL. 3



- 発行月／平成31年3月
- 編集・発行／国立大学法人 大阪大学共創推進部渉外課卒業生係
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-8 テクノアライアンス棟9階
TEL.06-6879-7196
- 編集協力／毎日新聞社大阪事業本部

INDEX

- 3 卒業生インタビュー
ジャズシンガー
- 3 栗田麻利子さん（2003年文学部卒業）
- 6 奮闘！阪大生
- 6 基礎工学部 環境サークル OFRAC
- 8 法学部 外国語学部 ソフトボール部
- 8 O.U.T.ビックス
- 8 ホームカミングデー 大阪大学の集い リーダーブローラム
- 8 卒業生からの寄稿
- 10 私の「阪大のプライド」プロジェクト、第三話
明治初年の大阪にあった幻の「帝国大学」
—ハラタマの舎密局と仮病院・大阪医学校—その一
- 開 祐司（1975年理学部卒業）



- 14 海外同窓会 ニュース
- 14 欧州 上海 ロサンゼルス

- 15 各地同窓会 ニュース
- 15 トヨタ パナソニック 和歌山



- 16 阪大ファミリィ
- 16 「阪大卒女性ネットワーク(関西)」設立！

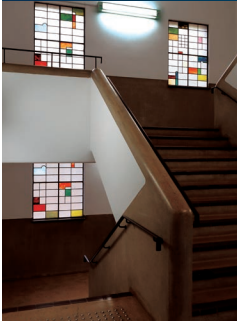


- 17 卒業生の皆様へ
- 17 大阪大学創立90周年
- 17 大阪外国語大学創立100周年記念事業



- 18 インフォメーション
- 18 ホームカミングデー
- 18 2019年卒業生・同窓会イベントのご案内

■表紙写真「大阪大学待兼山修学館」
1931年に大阪帝国大学医学部附属病院石橋分院本館として、待兼山に竣工。その後、医療技術短期大学の校舎として使用されていたが、2007年に総合学術博物館に改修した。約600点に及ぶ学術標本資料や発明品、歴史資料などが展示されている。中でも豊中キャンパスから発掘された約50万年前の「マチカネワニ」の化石は有名。レトロなステンドグラスがはめ込まれた建物は、2008年に国の登録有形文化財に指定された。



■裏表紙写真：「旧制浪速高等学校尋常科の玄関を飾ったステンドグラス」
旧制浪速高等学校は昭和25年（1950年）大阪大学に編入され、同校尋常科の建物は大阪大学旧教養部物理棟として昭和末期まで使用された。その間、この建物で幾多の輝かしい仕事がなされ、世界一の分解能を誇る質量分析装置も完成されている。
このステンドグラスは、現在、全学教育推進機構実験棟の1階の壁面に飾られている。



透明感ある歌声が魅力のジャズシンガー、栗田麻利子さん。2003年に文学部を卒業後、会社勤務を経てジャズの名門、米・バークリー音楽大学へ留学し、プロの道へ。現在は名古屋を拠点に音楽活動を続けている。学生時代の思い出や音楽に対する思いなどを阪大の職員二人が聞いた。

—人間科学部卒業の小住です。

—お会いするのを楽しみにしていました。

—文学部の後輩、松本です。

—よろしく願っています。

懐かしい思い出が詰まった
学生時代

—まず、阪大に入学したきっかけをお聞かせください。

栗田 母がエレクトーンの先生をしていたので、小さい頃から音楽は身近な存在でした。歌とダンスが好きで、母にミュージカルやコンサートによく連れて行ってもらいました。阪大では音楽についてはもちろん、美術史や演劇学、美学が学べると知って、思う存分、好きな分野の勉強ができると思いました。それと、阪大なら、しょっちゅう宝塚歌劇を観に行けるんじゃないかと思って(笑)。

—どんな学生時代でしたか。

栗田 舞台芸術全般、特にミュージカルが大好きでしたから、舞台ばかり観に行っていましたね。当時は「観劇実習」という授業があって、歌舞伎・能・狂言、人形浄瑠璃、創作ダンス、現代劇など、幅広く舞台芸術に触れさせてもらいました。担当教授はロシア演劇が専門の永田靖先生と能楽研究者の天野文雄先生で、あの時、阪大にいななければできないような貴重な経験をさせてもらったと思います。

音楽は自分らしさを
表現するツール



ジャズシンガー

—アカペラサークルに入っておられたとか。

栗田 ええ。入りたかった軽音楽部SWINGのは入部希望者が多くて、どうしようかなと迷っていたら、ちょうど隣で「ドゥワーワー、ドゥワーワー……」と歌っている人たちがいたんです。サークルオリエンテーションの時です。その歌声にひかれて、すぐアカペラサークル「spiritual voices」に入りました。練習場所は共通教育棟の隣にある広場。毎日、昼休みになるとここに集まって、みんなでお弁当を食べたり、練習したり。わずかな時間でも集まっていたし、夜遅くまで練習していました。

—今でも夜12時を過ぎても歌声が聞こえてきますよ。

栗田 そうですか。阪大生って、ほんとに遅くまでキャンパスにいますよね。基礎工学部なんか夜中まで煌々と電気がついてたのを覚えています。私は夜の練習が終わったら、友人の家に集まって鍋などをして色々語り合っていました。とても懐かしい思い出です。

—アカペラサークルは2017年に発足20周年を迎え、現在は約200人が在籍しています。



栗田 大所帯ですね。私はサークルの2期生で、当時のメンバーは20〜30人ほど、歌が上手な人はかりでした。アカペラブームに火をつけたテレビのバラエティー番組の企画「ハモ

常に最高のパフォーマンスを心掛け

—2010年5月に帰国後、2012年にCDデビューされ、現在はどのような活動をされていますか。

栗田 コンサートやライブで歌うのと、ボーカルレッスンがメインの仕事です。2015年に作曲家の山本翔太さんと童謡や唱歌をジャズ風にアレンジするユニット「さとのうた」を結成し、動画投稿サイト「YouTube」内の「さとのうたチャンネル」で公開しています。映画「となりのトトロ」のオープニング曲「さんぽ」は約500万回も再生されていて、すごくありがたいと思っています。

また、ジャズバイオリニストの加知優磨さんが考案した初心者向けのバイオリン「フレックシー」の普及活動にも関わっています。子どもたちに音楽を身近に感じてほしいと思って考えたフレット付きのバイオリンです。バイオリンを全く触ったことがない私でも5分で「きらきら星」が弾けるようになったんですよ。早い段階で「できたー」という達成感を味わ



ネブリーグ」がはやり始めた頃で、番組に出た人もいました。サークルのメンバーがアカペラグループ「SRO(インスピ)」を結成してプロデビューしました。メンバーの中の二人は同級生なんですよ。

—なぜ、音楽の道へ進むと思ったんですか。

栗田 阪大卒業後は、企業の経営企画部で仕事をしていました。ちょうど会社が上場する時期で、経営の中枢となる人たちを間近に見て、仕事の面白さを感じていました。でも、忙しすぎて一生続けるのは無理かなとも思うようになって。入社して2年目でした。少しでも自分の好きなことをしたいと、自己投資のつもりで週末に甲陽音楽学院へ通い、歌のレッスンを始めました。将来は音楽教室の先生になれたらいいな、そのくらいの気持ちで始めたら、どんどん楽しくなっていました。結局3年半ほど会社勤めをしていましたが、後半の2年間は音楽学院と両立させました。

—留学はどんな経緯だったんですか。

栗田 ほんとにラッキーの一言なんです。音楽学院を卒業する間際、ほんの軽い気持ち、力試しのつもりで、パークリー音楽大学の奨学金の試験を受けたら、奨学金をいただけることになったりして。今しかできないことだと思って行くことにしました。留学したのは2007年でした。

パークリーはプロ養成学校のようなところですが、すでに母国でプロ活動している人も世界中からわえると、次へのモチベーションになるし、何より楽しめるでしょ。音楽って、テクニックだけじゃない。仲間と息を合わせてひとつの音楽を作る喜びが大きな醍醐味ですから。名古屋芸術大学で学生に教える時も技術的な指導ばかりにならないよう、それぞれの個性を生かすような指導を心掛けています。

—ジャズの魅力は、やりがいはいかに？

栗田 やはりお客さんに「今日、聴きにきてよかった」と言ってもらえることがやりがいになります。コンサートやライブは毎回が勝負。演者が互いの音を聴き合いながら、その場の雰囲気を作り上げるのがジャズのよさです。だから一回にかける集中力が面白さであり、魅力ですね。

私にとって音楽は、自分らしさを表現するツールです。最高のパフォーマンスができるように普段から自己管理は欠かせません。華やかさうに見えるけれど、実際は、ひたすら練習するような地味な生活なんです。笑

—アクセサリー&コサージュブランドも手掛けておられるとうかがいます。

栗田 自分らしさを表現するために、曲に合わせた衣装や小物にもこだわるようになって、手作りが得意な母がアクセサリーやコサージュを作ってくれています。母の作品を見た人から誕生日プレゼントや入学式用のコサージュを作してほしいと依頼があったのをきっかけに、オリジナルブランド「アトリエ・ラパン」として、ネット販売しています。機会があれば、のぞいてみてくださいね。

—今後の展望をお聞かせください。

栗田 ライブ会場などで「私も阪大出身だよ」と応援してくださったり、「社長が阪大出身なので

集まることができます。そんなところに飛び込んでしまったんです。今思えば、無謀だった(笑)。留学してから「これは本気にならんといかんぞ」と、ようやく火がつきました。それからですね、真剣に音楽と向き合うようになったのは。

—レッスンは全て英語ですよ。

栗田 もちろん。阪大の文学部で英語は勉強したし、留学前にも準備していたので、あまり心配していません。日常会話がさっぱりできない。留学当初はスーパードラッグで紙袋かビニール袋か聞かれる「ペーパープラスチック？」すら聞き取れなくてショックでした。逆に分かったのは音楽用語だけで。授業は常に録音して毎夜聞き直すのが日課でした。泣きそうになりながら必死に勉強しました。

パークリーでは、ボーカルテクニックや作曲をメインに学びました。歌のレッスンでは「音程は悪くないけど英語の発音がダメね」と指摘されるばかりでした。悔しいけれど、発音は一朝一夕には上達しないので苦労しましたが、その分、得たものも大きかったです。2年半の留学中には、発声法も徹底的に叩き込まれ、表現の幅も広がりました。

会社のパーティーで歌ってくれますか」と声を掛けてもらうことが増えてきて、阪大ネットワークの広さを感じています。これからもつながりを大切にしていきたいです。

これまで自分の進むべき道に悩んだ時は、その都度、最もワクワクできるものを選択してきました。その先に現在の私があります。これからもワクワクし、毎日を誰よりも楽しむ。そうあり続けたいと思っています。そして、多くの人に私の歌を聴いていただけるようにしたいと思っています。

—今日は素敵なお話を聞かせていただき、ありがとうございました。



最新アルバム「That's my way」



■インタビュー

工学研究科総務課
小住大生
(2012年 人間科学部卒業)
渉外課
松本紘果
(2016年 文学部卒業)



栗田 麻利子(あわだまりこ)

岐阜県可児市出身。多治見北高校卒業。2003年大阪大学文学部卒業。会社員を経て、2007年から米国・ボストンにあるジャズの名門、パークリー音楽大学に留学。2009年12月にプロフェッショナルミュージックメジャーを首席卒業。2012年のCDデビュー以来、コンサートやライブ公演のほか、童謡や唱歌をジャズ風にアレンジするユニット「さとのうた」を結成するなど幅広く活動中。2017年4月から名古屋芸術大学音楽領域非常勤講師として後進の指導にも当たっている。
●栗田麻利子ホームページ <http://awadamariko.jp>
●さとのうたチャンネル <https://www.youtube.com/satonouta>

奮闘! 阪大生
世界経済フォーラム(Global Shapers) 環境サークルGECS OFRAC
法学部国際公共政策学科チーム スワヒリ語スピーチコンテスト ソフトボール部

ISF日本政策学生会議 最優秀政策提言賞受賞 法学部国際公共政策学科チーム



昨年12月8日～9日に明治大学駿河台キャンパス並びに日本大学経済学部でおこなわれた「ISF日本政策学生会議 政策フォーラム2018」において、大阪大学法学部国際公共政策学科チームが発表した論文が、「最優秀政策提言賞」を受賞し、総合評価での頂点に立ちました。

この政策フォーラムは、日本全国の大学から多数のゼミが参加し、政策提言論文を発表し、その内容を競うものです。今年は27大学から、124グループがエントリーしました。



世界経済フォーラム(ダボス会議)が認定する Global Shapers に佐久間洋司さん(基礎工学部・4年)が選出!

世界経済フォーラム(ダボス会議)Global Shapersのシェイパーに、基礎工学部4年の佐久間洋司さんが選出されました。このシェイパーは、優れた潜在能力、また実績を持ち、社会に貢献する強い意思を持つ33歳以下の若者から選ばれます。佐久間さんは、シェイパーとして、1月26日に開催された「未来の教育を考える日『NEXT DAY 2019』」のイベントリーダーに抜擢されたことに加え、人工知能研究会/AIRの代表として設立2年間で2,000名以上に人工知能の啓蒙・教育活動を行ったことなどが高く評価され、平成30年度日本学生支援機構 優秀学生顕彰の「奨励賞」も受賞しました。



スワヒリ語スピーチコンテストで 小島駿さん(外国語学部・4年)が優勝



昨年12月2日に「第28回創価大学創立者杯スワヒリ語スピーチコンテスト」(日本で唯一のスワヒリ語によるスピーチコンテスト)が創価大学において開催され、外国語学部スワヒリ語専攻4年生の小島駿さんが、「アフリカと日本の美しさ」をテーマにスピーチし、優勝しました。

小島さんは、幼いころからサッカーを続けており、サッカーが持つ娯楽だけではない価値を通して、アフリカと日本の美しさを知ることができたという内容や、表現力など高い評価を受けました。



ソフトボール部が関西ソフトボールリーグ2部優勝 1部昇格!

昨年10月27日、大阪大学体育会ソフトボール部は関西学生ソフトボール連盟秋季リーグ戦2部決勝に挑み、大阪体育大学に6-2で勝利しました。部史上2度目となる、1997年以来21年ぶりのリーグ2部優勝です!

これにより、次の春季リーグから1部への昇格が決定しました。悪天候による試合順延が相次ぐなど、コンディション調整の難しい中でしたが、素晴らしい成果を上げました。



凄いぞ OFRAC 全日本学生フォーミュラ大会で 総合優勝



昨年9月4日～9月8日に静岡県小笠山総合運動公園(ECOPA)で第16回全日本学生フォーミュラ大会(Formula SAE JAPAN)が開催され、大阪大学が2010年以来8年ぶり、2度目の総合優勝を果たし、参加総数98チームの頂点に立ちました。

全国大学生 環境活動コンテスト (ecocon) V2達成! 環境サークルGECS



昨年12月23日～24日に開催された「全国大学生環境活動コンテスト(ecocon)」(環境省・文部科学省など後援)において、大阪大学環境サークル「GECS」が2年連続でグランプリ(環境大臣賞)を受賞。2003年のサークル設立以来、4度目のグランプリ受賞となりました。また、大学内や北摂地域などを中心に河川の清掃やゴミ拾いなどの活動を続けている彼らの地道な活動も高く評価されています。



初のJAZZライブを開催 「ホームカミングデー」



プロサックス奏者 日比野さんと軽音楽部SWINGによるJAZZライブ



ダンスサークル祭楽人



日比野さんと
司会の関純子さんとのトーク

昨年4月30日、豊中キャンパスに過去最多の約550名の卒業生、在学生、保護者、教職員など「大阪大学ファミリー」が一堂に集まりました。

第1部は、プロサックス奏者 日比野則彦さん（1996年人間科学部卒業）と軽音楽部SWINGビッグバンド「The New Wave Jazz Orchestra」による演奏があり、参加者は、深みのあるサックス、迫力あるビッグバンドの素晴らしい音色に魅了されました。また、応援団の演舞、お祭りダンスサークル祭楽人によるダンスが行われ、会場は大いに盛り上がりしました。

第2部の交流会では、株式会社スウィーツ社長の春田聖史さん（1989年人間科学部卒業）による乾杯発声で始まり、春田さんのシューラスク、森喜造場の森喜るみ子さん（1983年薬学部卒業）の日本酒、それぞれのご提供による試食、抽選会など、にぎやかで楽しいひと時となりました。

東京国際フォーラムで初開催 「大阪大学の集いin東京」



アカペラグループ「INSPI」



INSPIとMakthyのコラボ

昨年12月1日、第10回「大阪大学の集いin東京」を東京国際フォーラムで初開催しました。

ライブステージでは、大阪大学で生まれ育って活躍するアカペラグループ「INSPI」（インスピ）が、2005年から歌い続けているCMソング「この木なんの木」を含む7曲を熱唱。大阪大学アカペラサークル「Inspirital voices」のMakthy（マクシー）との「上を向いて歩こう」のコーラボがあり、会場は素晴らしい歌声に酔いしれました。

交流会は、株式会社コングレ代表取締役社長の武内紀子さん（1986年人間科学部卒業）の乾杯でスタート。久しぶりの再会や新たな交流など、会場いっぱい賑やかな歓談の輪が広がりました。最後は大阪大学応援団が登場し、演舞と唱歌で交流会を締めくくりました。

「大阪大学の集いin福井」を初開催



講演者の築山さん



司会の小川真由さん

昨年8月18日、福井市で初開催した大阪大学の集いには、北陸、東海、四国等の大阪大学・大阪外国語大学の卒業生など約280名の参加がありました。講演会では、作家の築山桂さん（1992年文学部卒業）の講演があり、研究者から作家になるまで、また緒方洪庵、適塾などのことを笑いながら話され、最後には「大学で学問を学ぶかっこよさを教えてもらった」と話され、参加者は真剣に聴き入りました。

大阪大学福井県同窓会の前田征利会長（1968年基礎工学部卒業）の乾杯発声でスタートした交流会では、福井県同窓会会員有志を中心とした参加者全員による大阪高等学校全寮歌の合唱などがあり、大いに盛り上がりとなりました。

また、集いの開催前に、福井県同窓会総会も開催されました。



大阪高等学校全寮歌の合唱



福井県同窓会総会

「大阪大学リーダーズフォーラム」を 大阪で開催、130名が出席



講演者の末延さん



2月8日「大阪大学リーダーズフォーラム」が豊中キャンパスの大阪大学会館で開かれ、約130名の出席がありました。

講演会では、株式会社ボーラ・オルビスホールディングスグループ研究・薬事センター担当執行役員末延則子さん（1991年薬学研究科修了）が「歩踏み出す勇氣を私らしく、自分らしく」と題して、日本で初めてシワの改善効果があると厚生労働省に承認された医薬部外品化粧品開発に至るまでの秘話や、開発を通じて学んだ大切なことなどを話され、参加者は真剣に聴き入りました。

日立造船株式会社相談役の古川実さん（1966年経済学部卒業）の乾杯発声で始まった交流会では、さまざまな世代・分野を超えた交歓が行われ、和やかな中にも、活力に満ちた会となりました。

私の「阪大のプライド」プロジェクト第二話

明治初年の大坂にあった 幻の「帝国大学」

—ハラタマの舎密局と仮病院・大阪医学校—その一



京都大学名誉教授
開 祐司
(1975年理学部卒業)

今年(2018年)三月に、阪大初代総長の扁額について「私の「阪大のプライド」プロジェクト」第一話を書かせていただいた(1)。本稿はその第二話である。阪大は、医学部に小さな理学部を加えただけの簡素な帝国大学として1931年(昭和六年)にスタートした。最近になって、この大学の原風景ともいべき高等教育機関が慶応四年/明治元年の大坂にあったのではないかと気づいた。明治初年から六十年以上の歳月を経て、大阪が一旦は失ったこの原風景を取り戻してみせたのが大阪帝

大の創立ではなかったかと考えるようになった。今回は、この幻の帝国大学のことを書いてみたい。

【舎密局】

1980年だから、もう四十年近く前になる。海軍さんだった父は、戦後、故郷の富山に帰って警察官として一生を送った。そんな関係で私の結婚式と披露宴は大阪府警本部の西側に隣接する警察会館で執り行うことになった。披露宴を終えて会館の玄関口を出ると、目の前に石柱が立っていて「舎密局址」とあった(写真

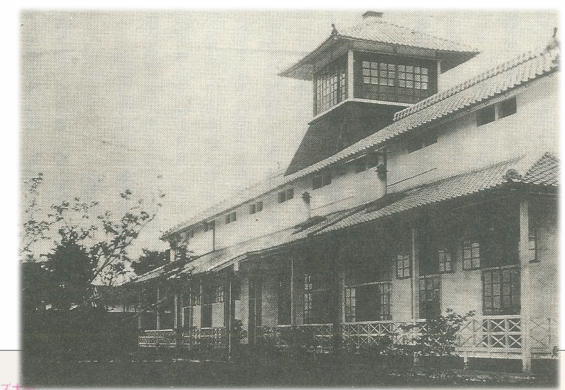


写真2. 大坂に設置された「舎密局」
(芝哲夫著「オランダ人の見た幕末・明治の日本」菜根出版(1993年)、94ページより転載)



▲写真1. 舎密局址 (B) 舎密局址と入れると表示される Google Maps の画像

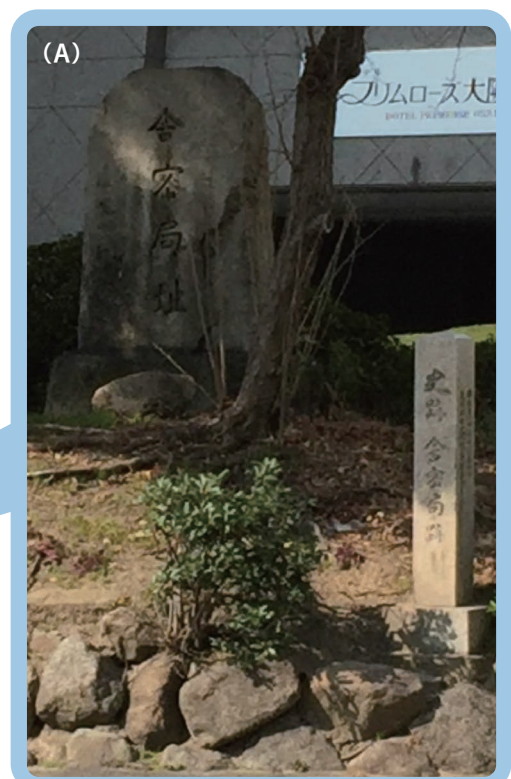


写真1. 舎密局址
(A) 大阪府警の西側の歩道沿いに立つ石碑と石柱(2016年2月筆者撮影)

1(2)。「ああ、舎密局って、ここにあったんだと驚いた。今でもこの場面はしっかりと記憶に残っている。

舎密はオランダ語の *Chemie* の音訳で、現在の「化学」を意味する。それで、舎密局は「化学校」ということになる。押し寄せる西欧近代文明を前にして幕末の日本がどうしても手に入れる必要を感じたのは、これを裏打ちする物理学と化学であったことは確かである。これらを受容するための窓口となったのが、明治元年に維新政府が大坂に設置した舎密局(翌、明治二年開校)である(写真2)。風見櫓のついた当時としては斬新な洋風建築である。ここでわが国で最初の理化学専門教師クーニラー・ハラタマ(Koenrad W. Gratama)を迎えて本格的な近代化学教育が始められた(3)。すなわち、西欧近代の化学が日本に初上陸したのは大坂だった。「舎密局址」の石柱は、そのことを物語っている。

阪大理学部化学科を卒業した私は、当時、大学院博士課程の院生だった。「なぜ、大坂なのだろう」と思いつつも、少し誇らしかった。今になって、当時の私がどうして「舎密局」を知っ

ていたのか、はつきりとは思いつけな。わが国への西洋医学の導入と歩調を合わせる形で進んだ化学の導入において果たした舎密局の役割やその教頭となったハラタマの功績については、理学部化学科で教授を務められた芝哲夫先生の御研究によって明らかにされている(4)。しかし、その成果が専門誌に投稿されることはあっても、一般に入手できる著書として発表されるようになるのは1988年に先生が定年退職されて以降のことである。舎密局を私が知っているとしたら、おそらく化学科の中で何らかの形で舎密局の事が語られていたからに違いない。舎密局については、本稿の後半で再び触れることになる。

【第8番目の帝国大学】

司馬遼太郎は、帝国大学のことを「まことに明治初年、西欧文明受容期の日本は一個の内燃機関だった。その配電盤にあたるものが、東京帝国大学で、意識してそのようにつくられた。」と書いている(5)。東京に続いて、全国に設立されていった帝国大学はその配電盤の延伸としての役割をはたしてきた。明治十九年(1886年)公布の「帝国大学令」

第一条には、帝国大学の性格を「帝国大学ハ、国家ノ須要ニ応スル學術技芸ヲ教授シ、及其蘊奥ヲ考究スルヲ以テ目的トス」と述べられている(6)。帝国大学がそのような性格のものであるなら、京都、仙台(東北)、札幌(北海道)、福岡(九州)、京城(朝鮮)、台北(台湾)と張り巡らされてきた文明の配電網に大阪を加える意義はほとんどない。京都と大阪はいかにも近い。阪大は帝国大学の正統的系譜から外れた毛色の違う帝国大学なのである。

1877年(明治十年)にまず東京大学が創立され(明治十九年に帝国大学に改称)、次いで元勲西園寺公望の提案により二番目の帝国大学が京都に1897年(明治三十年)に設立された。日清戦争でえた賠償金をもとにして、第三高等学校の土地・建物を利用する形で発足した。このような恵まれた経緯とは対照的に、大阪が第8番目の帝国大学を手に入れたのはようやく1931年(昭和六年)になってからである。

●参考資料と注

- (1)「私の「阪大のプライド」プロジェクト—長岡半太郎の勿嘗糟粕—」開 祐司著(大阪大学と卒業生をつなぐ情報誌OU STYLE vol.2, pp. 12-13、大阪大学、2018年)
- (2)この夏(2018年)に行ってみると、この懐かしい警察会館の建物はまさに解体の最中だった。Google Mapsをひらいて「舎密局址」と入力すると、すぐに旧警察会館の前にたつ石碑の場所を特定してくれる。
- (3)「オランダ人の見た幕末・明治の日本」芝哲夫著(菜根出版、1993年)、「日本の化学の開拓者たち」芝哲夫著(裳華房、ポピュラーサイエンス279、2006年)、「生命の化学」芝哲夫著(なにわ塾叢書79、ブレンセンター、2001年)など。
- (4)芝哲夫先生(1924年—2010年)は小竹無二雄先生につらなる生物有機化学者として高名だけでなく、化学史研究者としても有名で、1991年~1998年には化学史学会会長も務められた。
- (5)「この国のかたち(三)」62文明の配電盤 司馬遼太郎著(文藝春秋、1992年)
- (6)「大学の誕生(上)帝国大学の時代」天野郁夫著(中公新書2004、中央公論新社、2009年)

(次のページへ)

しかも昭和初期の世界恐慌後の苦しい経済状況のなかで、設立準備費のみならず当面の運営費も国からは措置されず、全てを地元大阪が賅った(7)。私は阪大のこういうところに魅かれるのだが、そうまでして、なぜ大阪が帝国大学をもとめたのだろうか。単に大阪が東京を凌いだ大大阪時代の見栄だけではないと思われる。

【適塾は
大阪大学のルーツなのか?】

「坂の上の雲」を追いもとめた明治日本の形が見えてくるのは西南戦争が終わる明治十年以降のことである。例えば「大学の誕生(上)帝国大学の時代」という新書(6)がある。その冒頭にも「物語は、明治十年にわが国最初の「大学」名称を持つ高等教育機関として設立され、明治十九年に帝国大学となった東京大学を中心に語られることになる。」とある。文部科学省のホームページ(8)にあらわれる「大学の誕生」物語も、東京発のものである。そもそも文部省が誕生するのが明治四年で、その企画の

もとに定められた「学制」発布が明治五年である。これでは大阪の帝国大学物語はみえてこない。本稿の舞台は、明治日本が未だ流動的だった慶応四年/明治元年の大阪である。

阪大のホームページ(9、10)をひらくと「大阪大学の源流は江戸時代の懷徳堂と適塾に見いだすことができます」とある。阪大が大阪の学問文化の伝統の上に成立しているということならば、確かにその通りである。しかし、大阪の豪商たちによつて1724年に作られた懷徳堂は、1931年の大阪に帝国大学がやつて来ることに直接の関りはない。昭和二十年の大阪大空襲により講堂や事務棟を焼失するまで、懷徳堂はむしろ阪大とは別個に存在していた。戦後に大阪大学が新制大学として法文学部を加えた際に、焼失をまぬかれた蔵書を引き継いだにすぎない。

では、緒方洪庵が開いた適塾(11)はどうかというところ、これもそう単純ではない。幕末に当代随一の蘭方医として知られた洪庵は強く固辞したものの容れられず、1862年(文久

二年)に幕府の奥医師として召し出されて江戸に赴いた。江戸では西洋医学所の頭取も兼ねた。しかし、翌1863年には明治維新を迎えることなく、江戸で客死している。明治元年(1868年)には適塾そのものが閉鎖されている。これは適塾が1931年の阪大創立とどう結びつくのか、まるで分からない。適塾が輩出した人材で誰もがまず思い浮かべるのは、福沢諭吉だろう。すると忽ち彼が江戸に作った慶応義塾大学の方に連想は飛んでいって、大阪には戻ってこない。阪大ホームページの歴史に関する記載(10)でも「適塾からは、福沢諭吉、大村益次郎、長与専齋、大島圭介、佐野常民、橋本佐内などをはじめ明治を切り開いた千人近い塾生が育ちました。」とあって、適塾が明治日本の建設に如何に広く貢献したのか了解でき

ない。適塾が1931年の阪大創立とどう結びつくのか、まるで分からない。適塾が輩出した人材で誰もがまず思い浮かべるのは、福沢諭吉だろう。すると忽ち彼が江戸に作った慶応義塾大学の方に連想は飛んでいって、大阪には戻ってこない。阪大ホームページの歴史に関する記載(10)でも「適塾からは、福沢諭吉、大村益次郎、長与専齋、大島圭介、佐野常民、橋本佐内などをはじめ明治を切り開いた千人近い塾生が育ちました。」とあって、適塾が明治日本の建設に如何に広く貢献したのか了解でき

るとしても、どうして大阪帝国大学に繋がるのかはやはり見えてこない。阪大ホームページ(10)では、これに続いて「1869年(明治二年)に明治新政府は、洪庵の二男・惟準(こゑよし)や洪庵の弟子達、およびオランダ人教師アントニウス・ボードウィン(Antonius F. Bauduin)を迎えて大阪病院院と大阪医学校を開設しました。大阪医学校は幾多の変遷を経て1915年に大阪府立医科大学になり、大阪帝国大学医学部へと発展していきました。」と解説されている。阪大医学部が明治二年の大阪医学校(写真3)までルーツを辿れることと、この医学校に適塾関係者が多く参画したことが分かるだけである(12)。医学部のルーツといえるが、そのまま阪大のルーツとまで拡張していいのだろうか、素朴に疑問に思っていた。

【幕末から明治へ―小松帯刀】

そもそも私が大阪からみた幕末・維新に思いを馳せるようになったのは、2008年のNHK大河ドラマ『篤姫』がきっかけだった。篤姫役の宮崎あおいや将軍家定役の堺雅人が

魅力的だったこともあるが、瑛太が演じた小松帯刀(13)という人物に興味をそそられたからである。下級武士が活躍した明治維新にあつて珍しく家格の高い家の生まれで、薩摩藩の家老職をつとめた。また、篤姫と縁の深い幼なじみでもある。薩摩藩が幕末の動乱を乗り切った立役者の一人であるのみならず、王政復古への具体的な道筋を演出したのも彼だった。しかし、宮尾登美子の原作(14)には登場しない。大河ドラマの脚本を書いた田淵久美子さんが西郷や大久保の陰に隠れてしまったこの人物を世の中に出したいと考えて加えた人物である(15)。生麦事件とその後、薩英戦争での指揮、薩長同盟、大政奉還、藩籍奉還などでは彼の名前が必ず登場する。これだけでも幕末・維新において彼の果たした役割の大きさが想像できる。薩長同盟も京都の小松邸においてのものだった(13)。しかし、あまり世に知られていないのは、彼が明治三年に三六歳(満三四歳)の若さで病死したからで、期待されたにもかかわらず明治新政府内での活躍は極めて限られたものになった。

小松帯刀が歴史のおもてに現れる

のは1862年(文久二年)に島津久光のもとで大番頭・家老並に任じられてからである(13)。その政治的足跡は十年に満たない。薩摩と京都を往復しながら王政復古を成し遂げたのも束の間、彼の終焉の地は大阪だった。ドラマの中では洋風でかなり立派な病室での闘病場面が映し出されていて、とつさにこれが阪大医学部の原風景ではないかと直感されて、つよい印象が残った。調べてみると案の定、この病院は大阪医学校病院であり、明治二年に小松を診たのはボードウィンであった。彼は長らく足痛に悩まされていたが、この時は下腹部に腫瘍が見つかった。これがもとで、翌明治三年七月に亡くなってしまった(13)。なぜここで少し長く小松帯刀に言及したかというと、彼こそが明治初年の大阪に構想された幻の帝国大学をもたらした張本人だからである。

(次号へつづく)

開 祐司(ひらきゆうじ)

富山県生まれ。1975年大阪大学理学部化学科卒業。81年大阪大学大学院理学研究科博士課程単位修得。理学博士。同年大阪大学歯学部助手、同講師、同助教授。米国留学・研究員を経て、98年京都大学再生医科学研究所教授。2015年同大ウィルス・再生医科学研究所所長、18年から同大名誉教授。

● 参考資料と注

- (6) 「大学の誕生(上)帝国大学の時代」天野郁夫著(中公新書2004、中央公論新社、2009年)
- (7) 「大阪帝国大学創設過程に関する覚え書：文政審議会における審議状況を中心に」阿部彰著(大阪大学史紀要 第2号、pp.1-4、1982年)
- (8) 「学制百年史」 http://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/html/others/detail/1317552.htm
「学制百二十年史」 http://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/html/others/detail/1318221.htm
- (9) <http://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/president/message.html>
- (10) <http://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/about/history>
- (11) 「緒方洪庵と適塾」梅溪昇著(大阪大学出版会、1996年)、「適塾の謎」芝哲夫著(大阪大学出版会、2005年)
- (12) 洪庵の長男は夭折しているため、二男・惟準が嗣子であることも書いておかないと適塾とのかかわりが実感しづらい。
- (13) 新装版「小松帯刀」高村直助著(吉川弘文館、2012年)、改訂復刻版「幻の宰相、小松帯刀伝」瀬野富吉著・原口泉監修(宮帯出版社、2008年)
- (14) 新装版「天璋院篤姫」(上)(下)宮尾登美子著(講談社文庫、2007年)
- (15) 「NHK大河ドラマ・ストーリー 篤姫(前編)」(NHK出版、2008年)p.91

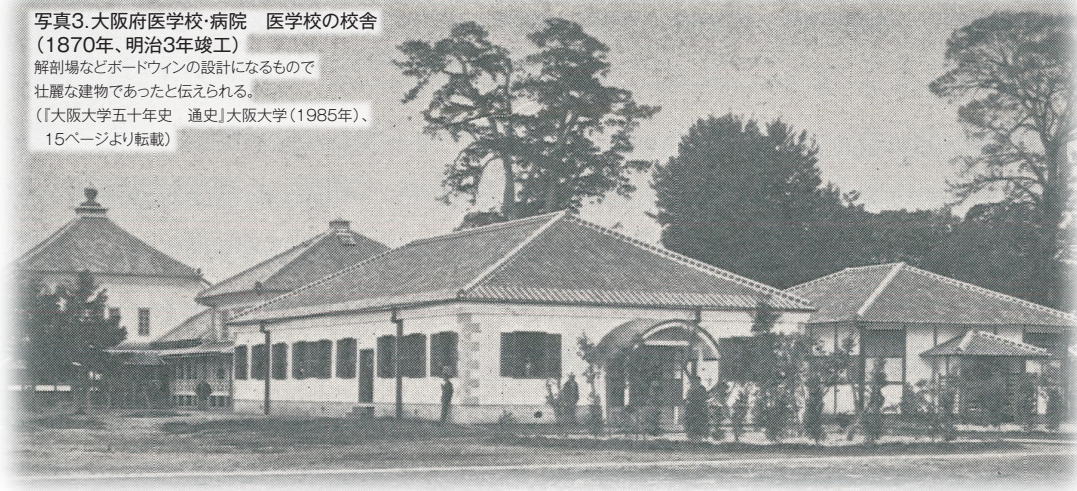


写真3.大阪府医学校・病院 医学校の校舎(1870年、明治3年竣工)
解剖場などボードウィンの設計になるもので、壮麗な建物であったと伝えられる。
(「大阪大学五十年史 通史」大阪大学(1985年)、15ページより転載)



欧州同窓会(英国)を ロンドンで開催



昨年8月28日、ロンドン市内のホテルで大阪大学欧州同窓会(英国)が開催されました。ロンドン、ケンブリッジ、ノリッジ等に在住している本学の卒業生や教職員の方々20余名が参加しました。河原源太理事・副学長より、本学の近況報告と国際活動の現状・将来展望について説明がありました。同窓生の方々からは、本学の国際活動を支援する熱い思いを念頭に、アカデミアや企業人としての在外経験に基づいたコメントがいくつも寄せられました。引き続き開催された交流会は再会や新たな交流の場となり、大いに盛り上がった時間を過ごしました。

上海同窓会を開催

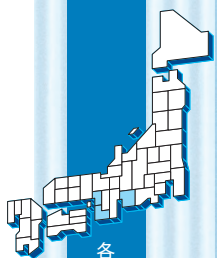


昨年10月19日、大阪大学上海同窓会が上海市内のレストランで開催され、大阪大学の同窓生、上海交通大学との交流セミナーに参加した教職員など60名余りの参加がありました。各参加者は親交を深め、また、魏光普氏(上海交通大学教授)ほか6名の中国人同窓生に、河原源太理事・副学長から記念品を進呈し、盛会のうちに終了しました。

ロサンゼルス地区 同窓会を開催



昨年11月10日、ロサンゼルス地区同窓会がサンフランシスコ近郊のホテルで開催され、遠くはフロリダ州やウィスコンシン州から、大阪大学の同窓生など25名余りの参加がありました。3名の同窓生からのショート・プレゼンテーションの後、各参加者は親交を深め、盛会のうちに終了しました。



「トヨタ阪大会総会」を 開催



昨年4月6日、毎年恒例の「トヨタ阪大会」総会(会員…1

259名)を豊田市内のホテルで開催し、363名のトヨタ自動車阪大卒業生が集いました。今年度のスローガン「つなげよう、ひろげよう、そして活かそう」トヨタの枠を超えた阪大会ネットワークを掲げ、吉川秀樹理事・副学長様にもご参加いただき、またテレビ西日本アナウンサーの橋本真衣様(2014年外国語学部卒業)には司会を、森喜酒造(三重県)の森喜るみ子様(1983年薬学部卒業)には日本酒をふるまってくると、社外の阪大ネットワークを感じつつ互いに交流を深めました。またイリュージョニストDaikiさんと現役の阪大レゴ部とのコラボ企画では、レゴのブリュッスが突如現れ会場は大盛り上がり。今後は阪大ネットワークの発展に貢献できるよう、活動していきます。

(記事写真提供 トヨタ阪大会)

「パナソニックOB いちよつ会総会」を開催



台風中止の「第16回総会(9/30)」が、昨年12月2日(日)に、会員

席して、大阪のホテルで再開されました。女性会員の増加に伴い「パナソニックいちよつ同窓会」への会名称の変更を満場一致で承認。「記念講演」では、石黒浩大阪大学栄誉教授から「アンドロイドと未来社会」と題した、時空や文理を超えた大変興味深いお話が大好評でした。「懇親会」も和やかで賑やかに行なわれ盛會裡に閉会しました。

(今年の「総会」は11月10日(日)を予定) 2017年から「退職後の私のプロジェクト」をコンセプトに会員による「講話会」が、大阪大学中之島センターで開催され、これまで「蕎麦の常識、非常識」「カヌー/自転車世界ひとり旅」「日本人の心と古事記」の話がありました。

当会ホームページ <http://panasonicobichiyotsukai.jp/index.html> (記事写真提供 パナソニックOBいちよつ会)

「和歌山阪大会総会」を 開催



和歌山県に在住、勤務する卒業生で構成する「和歌山阪大会」の第43回総会が1月26日、和歌山市内のホテルで開かれ、約60人が集いました。会長の小畑英三小畑産業会長(1970年工学部卒業)が「元号が今年変わります。若い方々に新しい時代を築いていっていただきたい」とあいさつし、事業・会計報告などが行われました。このあと県立紀伊風土記の丘主査学芸員の瀬谷今日子さん(2002年文学部卒業)が「わかやま発掘最前線〜日本の古墳群から地震痕跡まで」と題して基調講演し「皆さんが生活される土地、文化財への思いを深めていただきたい」と語りました。懇親会では楽しいスピーチや懇談が行われたほか、大阪大学から共創機構のPRや周年記念事業募金のお願などもありました。



大阪大学創立90周年・大阪外国語大学創立100周年記念事業 「思いをつなげる つむぎあう」

文化・芸術・学術・技術、
四つの知の交差点
中之島キャンパス
再開発事業



▲中之島センター外観イメージ

▲オープンスペース(交流の場)のイメージ

大阪大学は、2021年に大阪大学創立90周年、大阪外国語大学創立100周年を迎えます。本学では、この記念すべき年を迎えるにあたり、「思いをつなげる つむぎあう」をスローガンにさまざまな記念事業を行う予定です。

その主要事業として「大阪大学中之島キャンパス再開発事業」を実施いたします。これは、大阪大学の前身、大阪帝国大学発祥の地、「大阪市北区中之島四丁目エリア」に2004年に開設した、本学の社会学共創活動拠点である中之島センターを大規模改修・機能強化することにより、文化・芸術・学術・技術という「四つの知」が交差する社会学共創、アート、産学共創のグローバル発信拠点の形成を目指すものです。

加えて、「大阪大学箕面新キャンパス整備事業」を実施いたします。北大阪急行線の延伸で設置される「箕面船場阪大前駅」前に、大阪大学箕面新キャンパスを2021年に開学します。市民との交流空間となる「都市型キャンパス」の誕生と、新キャンパスの中心部局となる外国語学部の前身、大阪外国語大学が当年で創立100周年を迎えることを記念し、「大阪外国語大学記念ホール」の開設も予定しています。

この記念事業を進めるべく、募金活動を行うことといたしました。大阪大学のモットー「地域に生き世界に伸びる」のもとで、世界に向かっての「大阪の顔」としてこれらの共創事業を一層推進していくために、皆様方のご支援を心よりお願い申し上げます。



▲教育研究施設イメージ

▲大阪外国語大学記念ホールイメージ

これまでの100年を礎に
次の100年に向けて
箕面新キャンパス
整備事業

(募金について) ご連絡・お問い合わせ先

大阪大学 渉外本部 未来基金事務局
〒565-0871 吹田市山田丘2-8
TEL:06-6879-8327 FAX:06-6879-4337 E-mail:kikin@office.osaka-u.ac.jp
www.miraikikin.osaka-u.ac.jp (大阪大学未来基金ホームページ)



「阪大卒女性ネットワーク(関西)」設立!



昨年6月1日、大阪大学の女性卒業生で構成される「阪大卒女性ネットワーク(関西)」(会長:岩本 洋子(1976年法学部卒業))が設立されました。

本ネットワークは、大阪大学の女性卒業生等でネットワークを形成し、相互に交流、親睦を図るとともに、大阪大学との連絡を緊密にすることにより、大阪大学の女性の学生及び卒業(修了)生の支援などを行い、女性活躍の推進など広く社会に貢献することを目的としています。

2018年は、「大阪大学女子在学生活躍支援事業」として、女子学生のみなさんの活躍を促進する有意義な取組に対してご支援いただきました。

〈 構成員 〉

- 役員 / 会長:1名、副会長:若干名、会計1名、監事:1名
- 正ネットワーク構成員 / ・女性の卒業生及び修了生
・女性の教職員及び教職員であった者
・その他大阪大学の関係者で役員会が認めた者
- 賛助ネットワーク構成員 / 本ネットワークの事業に賛同し連携と協力をする団体又は個人



〈大阪大学女子在学生活躍支援事業〉

提案者氏名	所属・学年	取組名
稲田 紘子	文学部人文学科・2年	女性のより自由な人生の選択のためのフェミニズムについて平易に解説する広報誌作成
井寄 奈美	法学研究科法学・政治学専攻・博士後期課程3年	在学生と卒業生を結ぶ情報発信および交流サイトの立ち上げ～労働・キャリア支援関係
中川 花恋	人間科学研究科人間科学専攻・博士前期課程1年	『阪大 農業女子プロジェクト』

【岩本会長のコメント】

関西の「阪大卒女性」が「ネットワーク」を作って何かしよう!という話し合いをして、若い阪大女性の応援をしようということになりました。研究とか留学とかいろいろな分野がありますが、2018年の第1回は、キャリア企画の募集をしました。応募は23件、上記3件を採用しました。先輩女性たちが現役生のお役に立てたら嬉しいです。

詳しいことをお知りになりたい方は、下記までお問合せください。

大阪大学共創推進部渉外課卒業生係
Tel 06-6879-7196 Fax 06-6105-5982

E-mail (お問合せ専用)
alumni-info@ml.office.osaka-u.ac.jp

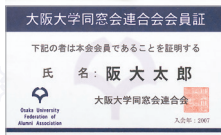


「大阪大学同窓会連合会」のご案内

各学部・研究科ごとに組織される同窓会をはじめ各種同窓会の発展に寄与するとともに、同窓会相互の交流、連携を推進することにより、卒業生等の交流、親睦を図り、併せて大阪大学との連絡を緊密にし、広く社会に貢献することを目的に平成17年7月25日に設立されました。

総合大学のメリットを最大限に活かした「オール阪大」としての人的ネットワークの構築を進め、大学と社会との連携を強化し、大阪大学の一層の発展と全同窓生の社会での活躍に資するために次の活動を行います。

- 1 部局同窓会相互の交流、連携の推進
- 2 新たな地域同窓会及び職域同窓会などの各種同窓会設立の支援
- 3 卒業生等と大阪大学との連携の促進
- 4 その他、本会の目的に沿った事業活動



●大阪大学同窓会連合会会長就任ごあいさつ

2018年4月に、大阪大学同窓会連合会会長に就任いたしました岸本忠三です。

長年にわたり会長を務められました熊谷信昭 前会長の後を引き継いでいただくこととなりました。大阪大学と大阪大学同窓会連合会の発展のために尽力してまいりたいと存じます。

大阪大学は2021年に創立90周年、2007年に統合した大阪外国語大学の創立100周年を迎えます。この記念すべき2021年、さらには、2031年の創立100周年に向けて、大阪大学が一段と発展していくことを我々は側面から支援し、期待していくとともに、大阪大学が輝かしい歴史と伝統の上に立って、これからも常に「地域に生き世界に伸びる」活力溢れる若々しい大学として発展し続けることを心より願っています。

大阪大学同窓会連合会会長
大阪大学第14代総長
岸本忠三

いちよう祭も開催中!

ホームカミングデー!

卒業生も在学生もみんな集まれ!

2019 5/3 金祝 AM10:00~

講演者プロフィール
1974年大阪外国語大学英語学専攻卒業後、ハワイ大学アメリカ文学士を取得。米国籍者としての経歴を経て、現在、国際会議 (APCE、四国財政局など)、政府関係、民間企業海外関係などの会議講師として活躍中。2014年4月にオハマ米大統領と天皇陛下との懇話の通訳を務め、15年4月にはオハマ米大統領と安倍首相との日米首脳会談での通訳も務めた。

講演者プロフィール
1974年大阪外国語大学英語学専攻卒業後、ハワイ大学アメリカ文学士を取得。米国籍者としての経歴を経て、現在、国際会議 (APCE、四国財政局など)、政府関係、民間企業海外関係などの会議講師として活躍中。2014年4月にオハマ米大統領と天皇陛下との懇話の通訳を務め、15年4月にはオハマ米大統領と安倍首相との日米首脳会談での通訳も務めた。

ホームカミングデー/各学部同窓会イベントのご案内
2019年5月3日(金・祝)
※ホームカミングデーの日に開催を予定しています。(2月末現在)

本	●大阪大学同窓会連合会総会 9:15~ 大阪大学会館
経	●経済学部同窓会/ホームカミングデー 13:45~ 経済学部本館中庭会議室
理	●理学部同窓会/講演会 14:30~ 理学部J棟2階南部陽一郎ホール ●永契会(理学部化学系同窓会)/総会・懇親会 17:00~ 理学部G棟1階塩見記念室 ●理学部生物同窓会/幹事会・総会・懇親会 17:00~ 理学部本館4階生物セミナー室ほか
基	●基礎工学部機械工学同窓会/総会 14:00~ 基礎工学部J棟1階共用セミナー室 ●基礎工学部物性物理工学科同窓会/総会 14:30~ 基礎工学部G棟5階多目的室

「2019年卒業生・同窓会イベント」のご案内

7月27日(土) 大阪大学の集いin香川 JRホテルクレメント高松(高松市)	12月7日(土) 大阪大学の集いin東京 東京国際フォーラム(東京・有楽町)
---	---

[各学部同窓会イベント]

工 4月12日 澤電会東京支部/総会・講演会 東京 メルパルク東京	基 10月19日 基礎工学部同窓会関東支部/総会 東京 学士会館
工 4月18日 浴生会/春の会 東京 銀座ライオン	外 11月 2日 咲耶会/総会・親睦会 大阪大学会館
工 5月22日 山鹿会 (工学部電気系S36卒同期会)/総会 神奈川 KKR鎌倉わかみや	歯 11月23日 歯学部同窓会/総会 大阪大学中之島センター
外 5月25日 咲耶会神戸支部/総会 箕面キャンパス記念会館	工 11月30日 工業会/創立100周年記念行事 大阪 千里阪急ホテル 記念シンポジウム・祝賀会
工 5月25日 工業会東京支部/総会 東京 学士会館	微 12月 6日 微生物病研究所同窓会 大阪大学微生物病研究所 /総会・懇親会 融合棟1階 谷口記念講堂
工 5月25日 工学部機械工学専攻 燃焼工学研究室同窓会 大阪大学内	[海外・地域・職域同窓会イベント]
工 6月 7日 澤電会/総会 大阪 大阪新阪急ホテル	4月19日 トヨタ阪大会/総会 愛知 名鉄トヨタホテル
工 6月10日 工業会/総会 大阪 ヴィアーレ大阪	7月13日 タイ同窓会 タイ
工 6月28日 庚子造船会/総会 兵庫 神戸クリスタルタワー	7月27日 香川いちよう会/総会 香川 JRホテルクレメント高松
経 7月 6日 経済学部同窓会/総会 大阪 リーガロイヤルホテル(大阪)	11月10日 パナソニックいちよう同窓会/総会 大阪 ホテルアゴラ大阪守口
法 7月20日 青雲会/総会 大阪 太閤園	11月16日 名古屋待兼会/総会 愛知 ローズコートホテル
外 10月12日 咲耶会東京支部/総会 東京 学士会館	※日程等の詳細は各同窓会にご確認ください。(2月末現在)

大阪大学共創推進部渉外課卒業生係
Tel 06-6879-7196 Fax 06-6105-5982
■E-mail(お問い合わせ専用)
alumni-info@ml.office.osaka-u.ac.jp

OU Mail News メールマガジン
卒業生のためのメールマガジン、OU Mail Newsを毎月配信中。大学の旬な話題やイベント案内、お得情報なども拡充してお届けしています。ご希望の方は、お名前、ご連絡先(住所・電話)、メールアドレス、大学との関係(卒業学部・卒業年月日など)を左記メールアドレスまで、お寄せください。

「阪大オリジナルグッズ」

大阪大学ワニ博士の頭脳グミ!

頭脳グミは、歯学研究科で、有志の阪大生の協力のもと「噛む効用」を調べる研究にも活用されました。ハードな食感!! 味は、コンセントレイトグレープ味とイノベティブアップル味です!
製造はUHA味覚糖さんで、パッケージにはかわいいワニ博士があしらわれています。
集中したい時に、ただ噛みたい時に・・・。

阪大グッズは大阪大学生協で扱っています。 www.osaka-univ.coop/shop/02_2.html

「学士会」のご案内

学士会は、国立七大学(北大、東北大、東大、名大、京大、阪大、九大)の卒業生・学生・教職員を会員とする総合同窓団体で、現在、会員数は約5万人です。
1886年に設立され、133年になる歴史と伝統のある同窓会組織で、七大学への支援、七大学同窓団体との連携、学士会館の利用をはじめ会員に向けた様々なサービスの提供等、多彩な活動を行っております。大阪大学、大阪外国語大学卒業生のみなさまへご案内します。

〈会員資格〉 七大学の卒業生・学生・教職員 詳しくは、学士会ホームページをご覧ください。
〈会費〉 年4,000円 入会金なし <http://www.gakushikai.or.jp>

大阪大学カード入会のご案内

「大阪大学ファミリー」のための特別な一枚
国立大学法人大阪大学/三井住友VISAカード

大阪大学と大阪外国語大学の卒業生、教職員、元職員だけが持つことのできる「大阪大学ファミリー」の証。それは、使うほどに母校の支えとなるカードです。カードホルダーの皆様が大阪大学カードをご利用になると、その利用金額に応じた提携手数料が三井住友カード(株)から大阪大学に還元され、教育、研究、学生支援などに活用されます。
2019年3月から万博記念公園にある大型複合施設「EXPOCITY」が新たなオリジナル特典に加わります!
(優待サービス提供店舗は一年毎に更新されます。)

入会のお申し込みは大阪大学ホームページから www.osaka-u.ac.jp/sp/oucard/ 阪大カード 検索